

## おいしいお米ができました！

### 白石産ササニシキ新米試食会

10月5日、食味日本一の「しろいし米」復活を目指す「宮城白石産ササニシキ復活プロジェクト」が、小原温泉ホテルいづみやで新米試食会を開催しました。

試食会には、市内の旅館や飲食店経営者、インターネットで募集した一般参加者など約50人が参加。ふっくらと炊きあがった新米ササニシキの香りと味を堪能しました。夏の日照不足で出来栄への影響が心配されましたが、試食した人は「やさしい香りがあり、口に入れるとふっくらとした食感と甘みがある。日本食にぴったりのお米だと思います」と感想を話していました。



▲待ちかねた新米ササニシキの味を堪能する参加者たち

## 自転車でご当地麺を堪能！

### 山形・宮城4市町で「グル麺ライド」開催

9月24日、山形県高島町から宮城県白石市までの4市町を結ぶ「みちのくおとぎ街道（国道113号）」で、自転車でご当地麺グルメ「グル麺」を食べながら巡る「グル麺ライド」が行われました。各市町にはチェックポイントが設置され、高島町ではひっぱりうどん、南陽市では冷やしラーメン、七ヶ宿町ではそば、白石市ではうーめんが参加者に振る舞われました。

白石市のチェックポイント「材木岩公園」に到着した参加者は「天気がよく景色もよかったですね。どの麺もおいしく食べられました」と話してくれました。



▲うーめんを堪能し、再スタートを待つ選手たち

## 家庭バレーボール宮城県大会で優勝

### 白石市代表・短ヶ町チームが表敬訪問

10月4日、「第11回家庭バレーボール宮城県大会」で優勝した白石市代表の短ヶ町チームが市役所を訪れ、山田市長に優勝の報告をしました。9月24日にセキスイハイムスーパーアリーナ（利府町）で開催されたこの大会では、県内の各地区代表18チームが競い合いました。

準決勝では1セットを先取される厳しい展開でしたが、選手全員が粘りのバレーで逆転勝利、決勝に駒を進め見事優勝を勝ち取りました。チームのエースである齋藤信貴さんは「絶対勝つという気持ちをしわなかったの



▲出場した選手と関係者の皆さん。来年は「目指せV2！」

## 水泳を通して交流と友情を深める

### 姉妹都市親善水泳大会2017

9月17日、「姉妹都市親善水泳大会2017」がスパッシュランドしろいしで開催されました。この大会には、登別市から16人、海老名市から10人、本市から21人の計47人の小学生が参加。「自由形50m」「平泳ぎ50m」などの個人4種目とリレーで熱戦を繰り広げました。

今大会にはサプライズゲストに、ロンドンオリンピック200m平泳ぎ銅メダリスト立石諒さんが大会前日の練習会から参加。子どもたちはメダリストとのふれあいにとても喜んでいました。大会では、2種目で大会新記録が出るなど、親睦を深めながらの交流も行っていました。



▲元五輪選手立石さん(左)から授与されたメダルを手に記念撮影

## 手繰り寄せろ、総合優勝！

### 第89回白石市民体育大会

10月8日、「第89回白石市民体育大会」が白石川緑地公園陸上競技場で開催されました。穏やかな天候で運動会日和となったこの日は、24地区から約1,500人が参加。釣りもの競走や玉入れ、パン食い競争、綱引き、長縄跳び、デカパン競争、200歳リレーなど、各種目とも熱戦を繰り広げました。地区の威信をかけた戦いは、連覇を狙う西益岡、昨年2位の鷹巣、そして柳町、本郷第3が上位争いを繰り広げました。接戦の末、最後は柳町が見事に総合優勝。この日はどの地区も大きな声で声援を送るなど、地区民間の交流と絆を深めていました。



▲練習の成果が発揮された柳町。4年ぶりの王座奪還！

## ごみを拾ってきれいなまちに

### 白石高等学校吹奏楽部が地域清掃活動

9月21日、白石高等学校吹奏楽部保護者会の主催で清掃奉仕活動が実施されました。この活動は、旧白石女子高等学校時代に、いつもお世話になっている地域の方々への感謝と恩返しの気持ちから活動が始まり、今年で12年目。この日は部員と保護者約50人が参加し、益岡公園・武家屋敷方面と市役所・白石駅方面の2つの班に分かれてごみ拾いを行いました。参加した部員は「普段なかなか地域に貢献する機会がないので、この活動を続けて恩返ししていきたいですね」とさわやかな笑顔で話してくれました。



▲白石城本丸広場でごみを拾う部員たち

## 100歳おめでとうございます

### 阿部とみ子さんに松竹梅敬老祝金

9月29日、翌々に100歳を迎える阿部とみ子さんを山田市長が訪ね、松竹梅敬老祝金と祝詞を贈り長寿を祝いました。とみ子さんは大正のお生まれ。学校卒業後は大阪のお寺でお手伝いとして勤めました。大鷹沢に嫁がれてからは、戦争で男手がないため、農業や土木作業をするなど大変な苦勞をしながら、懸命に家を守ってきたそうです。煮物や甘いお菓子が好物で、以前はお孫さんとの生活を楽しく過ごされていました。長寿の秘訣は「常に歩いたり畑仕事をしたりして丈夫な体を培ってきたからではないか」と家族が話してくれました。



▲とみ子さんの長寿を祝うご家族と山田市長

## 手掛けた新米、待ち遠しい！

### 田んぼワクワク講座で稲刈り体験

10月1日、5月に行った田植え体験で福岡上原地区に植えた稲が収穫の時期を迎え、市内外から親子7組18人が集まり、稲刈り体験を行いました。晴天に恵まれたこの日、上原自治会の皆さんの協力を得ながら、大人から子どもまで鎌を手に稲を刈り取り、わらで束ねて棒掛けまで行いました。参加者は「おいしいお米になったかな」「手作業は時間もかかり大変ですね」と、新米への期待と昔ながらの農作業の苦勞を感じていました。

収穫された稲は乾燥後に脱穀し、11月に収穫祭が行われます。



▲稲をわらで束ねている様子。子どもも一生懸命手伝いました